

公 表

第57回技能五輪全国大会「和裁」職種競技課題

統一材料を使用し、仕立て寸法規定に従うこと

次の注意事項及び仕様に従って、競技時間内に付下げ女子用あわせ長着を仕立てなさい。

1 競技時間 9時間

2 注意事項

- (1) 使用工具等は、「使用工具等一覧表」で指定したもの以外は、使用してはならない。
ただし、障がいがある場合は、その程度に応じて必要とする工具等の使用を認めるので、事前に 全国和裁着装団体連合会 03-3816-1858 に連絡すること。
当日の申告は不可とする。
- (2) 競技中は、工具等の貸し借りを禁止する。
- (3) 競技開始前に、針に糸を通してはならない。
- (4) 作品をたたみ上げた時点をもって作業終了とする。
- (5) 競技終了時刻になった旨を知らされた場合は、直ちに作業をやめ、競技委員の指示に従うこと。
- (6) 作業時の服装等は、作業に適したものであること。
- (7) 以上の注意事項に基づき、怪我のないよう十分注意して作業をすること。

3 仕様

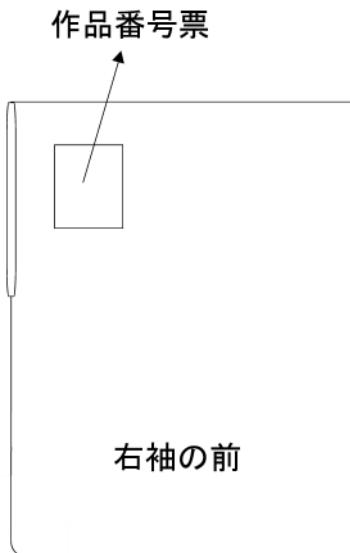
- ・**仕立て寸法** 身丈・・・背から4尺2寸
袖丈・・・1尺3寸
桁・・・1尺7寸5分
袖巾・・・9寸
袖付・・・6寸
袖口・・・6寸
後巾・・・8寸
前巾・・・6寸5分
抱巾・・・6寸5分
衽巾・・・4寸
合襷巾・・・3寸8分
縁越・・・5分
襷下・・・2尺1寸
その他の寸法は標準寸法に準ずる

- ・**特殊加工(ガード加工など)はしないこと**

- (1) 事前に縫い上げておく箇所は、次のとおりとする。
右そで、えり先布と裏おくみのこはぎ、裏は胴裏、裾回し（八掛け）胴はぎまで
(胴裏の背縫いは自由とする)。
- (2) 競技会場で行うものは、次のとおりとする。
左そでと表身ごろ、裏身ごろ前幅のしるし付け（へら付け）をし、おくみ付けから仕上がりまで。
- (3) えりは、表裏別縫いとし、えり先は本止めとすること。ただし、えり先縫い代を表裏のおくみではさむ。
- (4) 共えりは、別がけとする。ただし、くけは束ぐけでもよい。
- (5) そで口布は、回しがけとする。
- (6) 共えり及びつま下（えり下）のしつけは、事前行ってきてはならない。
- (7) しつけの種類は自由とする。
- (8) 三つえり芯の長さは8寸（30cm）以内とする。
- (9) 競技終了後のおもしはしてはいけない。
- (10) 裏えり、胴はぎの縫込みは、止めても止めなくてもよい。ただし、他の縫込みは止めてはならない。
- (11) 耳がつれる理由での切り込みはよしとする。ただし、耳を切り落としてはならない。切り込みの深さは1分5厘までとする。

**注:すべての箇所についての幅のしるし付け(へら・チャコ等)、折りは
してきてはいけない。ただし表、裏のおくみのしるしは自由とする。**

作品番号票は、下図に示す位置に取れないように縫い付けること。ただし、縫い付ける時間は競技時間外とする。



4 支給材料

付下げ表地・八掛・胴裏

5 競技日程

11月15日（金） 下見 集合時刻：12時
終了時刻：12時30分

11月16日（土） 競技 集合時刻：8時25分
説明検品：8時30分～8時55分
競技開始：9時～12時
休憩：12時～12時45分
競技再開：12時45分～15時45分
終了時刻：15時45分

11月17日（日） 競技 集合時刻：8時40分
競技開始：9時～12時
終了時刻：12時

6 採点項目等

採点項目		配点
作品採点	仕様誤り	100
	できばえ	
作業態度		

公 表

第57回技能五輪全国大会「和裁」職種持参工具等一覧表

選手が持参するもの(数量欄は、特にことわりのない限り選手1人当たりの数量を示す)。

区分	品 名	規 格	数 量	備 考
材 料	表地	事前に配付した材料を持参のこと	1枚分	仕様どおりに事前に裁断縫製したもの
	裏地	事前に配付した材料を持参のこと	1枚分	仕様どおりに事前に裁断縫製したもの（通し裏は使用できない）
	三つえり芯		適 宜	
	すそ芯又はふきわた		適 宜	
	糸		適 宜	
工 具	コテ釜 コテ（2本使用可）		1 台 1、2本	

注意 その他、必要だと思われる裁縫用具一式を各自持参すること。ただし、アイロン（ベビーアイロンを含む）、霧吹き等他人に迷惑をかける恐れのあるものの持込みは禁止する。

公 表

第57回技能五輪全国大会「和裁」職種設備基準

競技会場に準備してあるものは、以下のとおり。

品 名	規 格	数 量	備 考
裁ち板	180cm×45cm×4.2cm	1枚／1人	足台の高さは15cmない し25cmである。
作品番号票	10cm×5cm	1枚／1人	
座布団		1枚／1人	

公表

第57回技能五輪全国大会「和裁」職種採点基準概要

1. 採点項目等

採点項目		配点
作品採点	仕様誤り	100
	できばえ	
作業態度		

イ) 仕様誤り

- 衿先が本止めになっていないもの
- 袖口布が回しがけになっていないもの
- 三つ衿芯の入っていないもの
- 白針になっているもの 1目につき減点
- 引き糸が付いている場合、1箇所につき減点

ロ) できばえ

- 袖口・口下・丸み
- 袖丈・袖巾・振り
- 袖付け・身八つ口・袴のつりあい
- 表・裏直線縫い 身巾のつり合い
- 身頃の立てとじ かぶり
- つま・裾ぶき
- つま下
- 表衿つけ・共衿つけ
- 裏衿つけ・衿とじ
- 衿くけ・衿先
- 上前のおくみ付け（模様合わせ）
- コテ光り、焼けこげ、しみ等

ハ) 作業態度（不安全行動）

2. 採点方法

- 競技委員の水準調整として、2枚以上の作品を見て水準の統一を図る
- 競技委員が各項目を採点し、合計点の高いものから順位を決定する

3. 失格要件

- 作品に残針があった場合
- 左右の袖付け違い
- 未完成品